

## 令和7年度 第7回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和7年10月21日（火） 10時

場 所：村民会館講堂

村長より

- ・まだ課題はあるものの順調にいったいる部分も多くあり、今日の協議事項にもあるオフサイト PPA の関係では、(株)レゾナック・グラファイト・ジャパンと来週土地使用の契約を交わし、そちらの方へオフサイト PPA の施工をする予定が立ったところである。
- ・上生坂のマイクログリッド工事の方も着実に進めており、県道はほぼ埋設が済んだのではないかと感じている。また、他の自治体等からも生坂村の脱炭素事業が注目を浴びており、少しずつ視察関係が増えてきたことを非常に嬉しく感じている。この対応をはじめ、地域の皆様によりご理解いただけるよう広報活動にも力を入れていきたい。

### 【協議事項】

#### ○令和7年度オフサイト PPA 施工予定について

- ・昭津区の(株)レゾナック・グラファイト・ジャパン敷地内に設置予定の太陽光発電設備（パネル 100 枚、発電出力 49.5kW、蓄電池容量 353.28kWh）の今後の設置工程について説明。

#### ○上生坂マイクログリッド工事について

- ・現在の施工状況、今後の施工内容としてハンドホールの設置、大型蓄電池設置、管路埋設、建柱工事、電線工事の施工予定について説明。
- ・ハンドホールの形状について質問があり、コンクリート構造で四角柱の形状であると説明。

#### ○他自治体等からの視察案件について

- ・9月から10月に脱炭素先行地域づくり事業関係の研修・視察で来村した、

法政大学社会学部学生、福井県池田町副町長、岩手県岩手地区議会議長会への対応について説明。

#### ○(株)いくさかてらすの期間限定割引について

- ・大手電力会社で 12 月から 5 か月間実施する電気料金 10%引きと同様に(株)いくさかてらすでも割引を行うと説明があった。
- ・割引を行うことで(株)いくさかてらすの経営に影響はないか質問があり、大手電力会社を同じように対応して、加入者を増やすことにより経営を安定させていきたいと説明があった。

#### ○その他

- ・東京大学、生坂村、(株)いくさかてらす、(株)エコロミで協定を結び、生坂村における脱炭素化に資するデマンドレスポンス構築を研究題目とし、自社電源による区域内供給率を高めて脱炭素化に資することに加え、調達リスクを下げる事にもつながるデマンドレスポンスシステム構築を目指すとともに、東京大学の知見をさらに蓄積する事を研究目的として行うと説明。
- ・生坂村がどのような経緯でこの事業を行うようになったか質問があり、これまでの研究で不足していた寒冷地における電力使用状況のデータを収集し、他地域との比較分析を行うことが目的で生坂村が対象になったと説明。
- ・龍と子 Vol. 22 の内容として、赤とんぼフェスティバルで行った効果促進事業の掲載内容等について説明。
- ・松本山雅より補足として、あまり事業が認知されていないと感じたので、様々な内容で行っている事業の周知、効果促進をどうやって進めていくか課題があると思っており、アンケートの結果をしっかりと分析した上で、次のアクションを提案したいという意見があった。

#### 【意見・質問】

- ・脱炭素事業は国家的にも重要であり、現状の PR 不足を改善する必要や、住

民に分かりやすく伝える工夫が必要ではないかという意見があった。また東日本大震災の事例を踏まえ、電気がない不便さや太陽光発電設備の緊急時・災害時における有効性を、住民の命を守る手段として広報したらどうかという意見があった。

- ・野立て太陽光パネルの下部空間を有効利用し、農業とシェアできるソーラーシェアリングを検討したらどうかという意見があった。
- ・広報誌『龍と子』の内容を充実させたり、インスタグラムなど SNS の活用を推進したりすべきという意見があった。